



令和2年9月1日
十日町市博物館

国宝の競演・新館オープン記念秋季特別展を開催します

新十日町市博物館のオープンを記念して、秋季特別展「縄文の遺産—雪降る縄文と星降る縄文の競演—」を開催します。新潟県と長野・山梨県では、それぞれ縄文をテーマとした日本遺産ストーリー「なんだ、これは！信濃川流域の火焔型土器と雪国の文化」と、「星降る中部高地の縄文世界」が認定を受けています。

特別展では、中部地方に華開いた縄文文化を紹介します。長野県茅野市所蔵の国宝「縄文のビーナス」（土偶）と、当市所蔵の国宝「火焔型土器」が競演するまたとない機会です。その他に山梨県内出土の重要文化財指定の土器3点も展示されます。また、関連イベントとして記念講演会を開催します。

1 会期・観覧料など

- ・会 場 博物館 企画展示室
- ・会 期 9月26日（土）～11月8日（日）
休館日：9/28、10/5・12・19・26（11/2は臨時開館）
- ・特別展観覧料 1,000円（常設展と共に、団体20名以上900円）
中学生以下無料
- ・開館時間 9:00～17:00（入館は16:30まで）

2 記念講演会「日本美術史における縄文的なるもの」

- ・講 師 山下 裕二さん（明治学院大学文学部芸術学科 教授）
- ・日 時 10月17日（土） 13:30～15:00
- ・会 場 博物館 講堂
- ・定 員 25名（要事前申込み、定員になり次第締切り、当日申込み不可）
- ・受講料 無料（特別展・常設展の見学は観覧料が必要）
- ・申込み 電話・FAX・メールのいずれかで博物館へ

3 報道機関向け展示説明会

- ・日 時 9月25日（金） 13:30～14:00

4 添付資料

- ・チラシ

■お問合せ先

十日町市博物館

担当：菅沼 亘 ☎025-757-5531



十日町市博物館
TOKAMACHI CITY MUSEUM

新館オープン記念秋季特別展



縄文の遺産

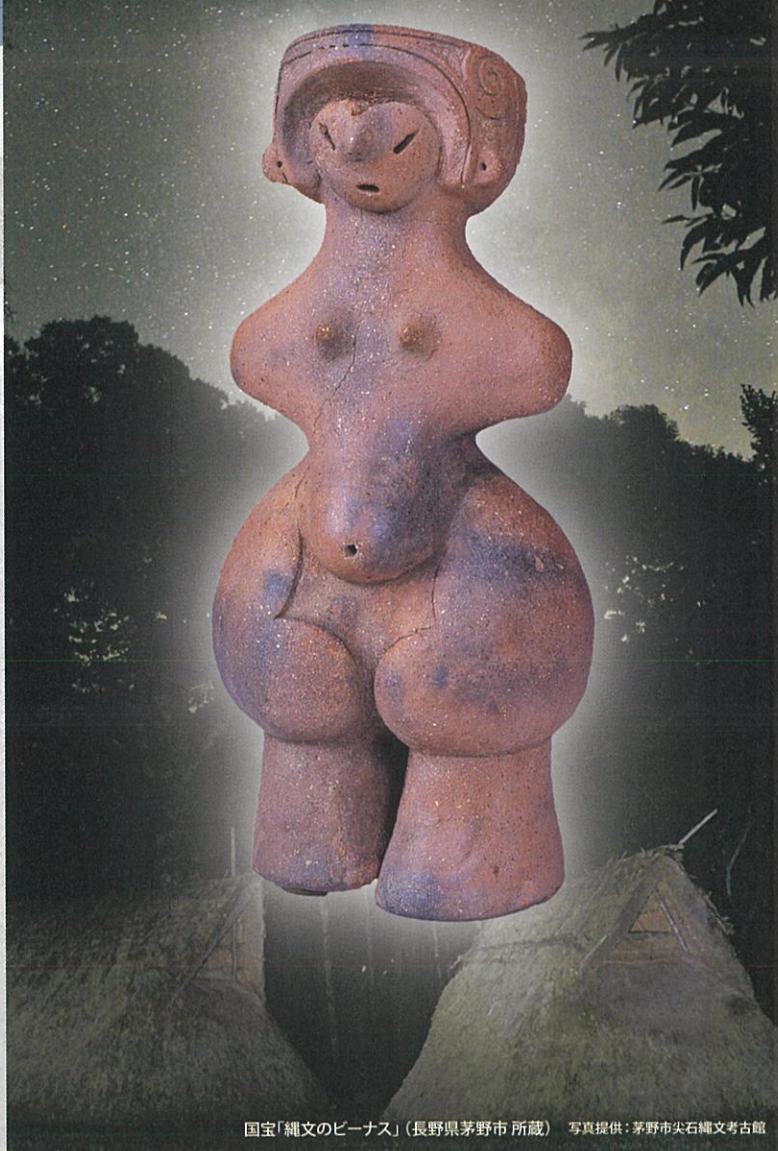
Jomon Heritage

— 雪降る縄文と星降る縄文の競演 —

令和2年 9月26日(土)～11月8日(日)



国宝「火焔型土器」(十日町市 所蔵) 高精細レプリカ Photo T.Ogawa



国宝「縄文のビーナス」(長野県茅野市 所蔵) 写真提供:茅野市尖石縄文考古館

記念講演会「日本美術史における縄文的なるもの」

講 師: 山下 裕二さん (明治学院大学文学部芸術学科 教授)

日 時: 10月17日(土) 13:30～15:00

会 場: 博物館 講堂

定 員: 25名 (要事前申込み・定員になり次第締切・当日申込み不可)

受講料: 無料 (特別展・常設展の見学は観覧料が必要)

申込み: 電話・FAX・メールのいずれかで博物館へ

<お願い>

・入館にあたってはマスクを着用してください。

・新型コロナウィルス感染症拡大の状況により、入館制限を行います。

また、上記の内容が変更・中止になる場合があります。

観 覧 料: 1,000円 (常設展と共に 団体20名以上 900円)
中学生以下無料

開館時間: 9:00～17:00 (入館は16:30まで)

休 館 日: 9/28、10/5・12・19・26

十日町市博物館

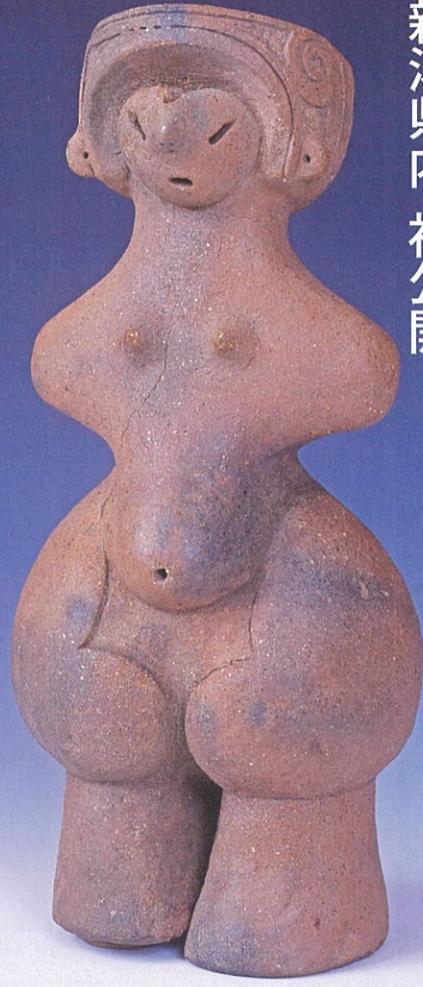
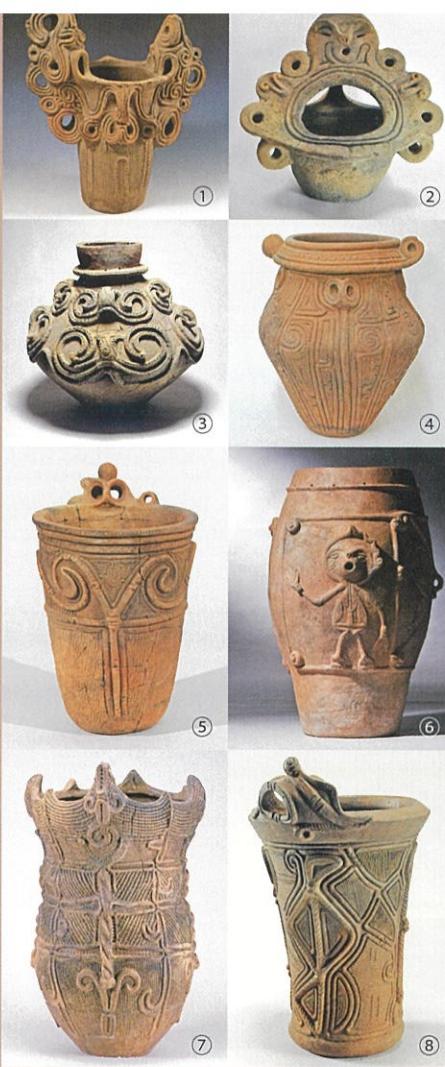


〒948-0072 新潟県十日町市西本町1-448-9
TEL: 025-757-5531 / FAX: 025-757-6998
e-mail: museum.10@city.tokamachi.lg.jp

共催: 信濃川火焰街道連携協議会・博物館友の会



国宝「火焰型土器」(十日町市所蔵)
Photo T.Ogawa



国宝「縄文のビーナス」(長野県茅野市所蔵)

①曾利遺跡 水煙渦巻文深鉢 (井戸尻考古館所蔵) ②前尾根遺跡 顔面装飾付釣手土器 (原村教育委員会所蔵) ③花上寺遺跡 貼付文有孔鍔付土器 (市立岡谷美術考古館所蔵) ④重文・积迦堂
遺跡深鉢形土器 (积迦堂遺跡博物館所蔵) ⑤荒神山遺跡 動物装飾付深鉢 (諏訪市博物館所蔵) ⑥重文・鑄物師屋遺跡 人体文様付有孔鍔付土器 (南アルプス市教育委員会所蔵) ⑦棚畠遺跡 貼付文深鉢形土器 (茅野市尖石縄文考古館所蔵) ⑧重文・一の沢遺跡 人体文土器 (山梨県立考古博物館所蔵)

①は田枝 幹宏氏、③・⑧は小川 忠博氏による撮影、写真提供は資料所蔵者

<テーマ>

新潟県と長野・山梨県では、それぞれ縄文をテーマとしたストーリー「なんだ、これは! 信濃川流域の火焰型土器と雪国の文化」と、「星降る中部高地の縄文世界」が日本遺産の認定を受けています。縄文時代中期に3県が位置する中部地方では、新潟県の火焰型土器や長野・山梨県の水煙文土器など、過剰なまでに装飾が施された土器が作られていました。これら3県から出土している土器、土製品、石製品などの優品(国宝・重要文化財含む)を集め、中部地方に華開いた独自の縄文文化を紹介します。

<主な展示品> 上に写真を掲載した資料以外

I 雪降る縄文の世界 ー信濃川流域の縄文文化ー

高平遺跡 火焰型・王冠型土器 (村上市教育委員会所蔵)
川俣遺跡 王冠型土器 (新潟県教育委員会所蔵)
秋葉遺跡 王冠型土器 (新潟市教育委員会所蔵)
長野遺跡 火焰型・王冠型土器 (三条市所蔵)
耳取遺跡 ヒスイ製大珠 (見附市教育委員会所蔵)
馬高遺跡 火焰型土器 (長岡市教育委員会所蔵)
野首遺跡 火焰型・王冠型土器 (当館所蔵)
正安寺遺跡 火焰型土器 (魚沼市教育委員会所蔵)
原遺跡 火焰型土器 (南魚沼市教育委員会所蔵)
諏訪前遺跡 火焰型土器 (津南町教育委員会所蔵)
塔ヶ崎遺跡 火焰型土器 (上越市教育委員会所蔵)
川内遺跡 王冠型土器 (柏崎市立博物館所蔵)
長者ヶ原遺跡 火焰型土器 (糸魚川市教育委員会所蔵)
長瀬新田遺跡 火焰型土器 (長野県栄村教育委員会所蔵)

II 星降る縄文の世界 ー中部高地の縄文文化ー

目切遺跡 壺を持つ妊婦土偶 (市立岡谷美術考古館所蔵)
竹宇1遺跡 顔面把手付土器 (北杜市教育委員会所蔵)
石之坪遺跡 土偶「ミス石之坪」 (韮崎市民俗資料館所蔵)
重文・酒呑場遺跡 ヒスイ製大珠 (山梨県立考古博物館所蔵)
三光遺跡 ヒスイ製大珠 (笛吹市教育委員会所蔵)
長田口遺跡 黒曜石原石 (南アルプス市教育委員会所蔵)

<記念講演会>

「日本美術史における縄文的なるもの」

講 師: 山下 裕二さん (明治学院大学文学部芸術学科教授)
日 時: 10月17日(土) 13:30 ~ 15:00
会 場: 博物館 講堂

講師プロフィール

1958年、広島県生まれ。美術史家。
東京大学大学院修了。室町時代の水墨画を中心、縄文から現代までの日本美術史を論じるほか、展覧会プロデュースなど多方面に活躍。著書に『未来の国宝・MY国宝』(小学館)、『日本美術の底力「縄文×弥生」で解き明かす』(NHK出版)など多数。



アクセス

- ・ほくほく線、JR飯山線 十日町駅から徒歩10分
- ・関越道 六日町IC、越後川口ICから車30分
- ・北陸道 上越IC、上信越道 豊田飯山ICから車80分

十日町市博物館

URL: <https://www.tokamachi-museum.jp/>